



取組事例の名称	某企業様 集客施設スタンド補強工事
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査により盛土の状況把握、地形の把握を行ったうえ、上記断面のような計画・設計をおこなった。</li> <li>・施設営業は行うので、営業日時を考慮した工程計画をおこなった。</li> <li>・企業者の意向などで平日作業休止等が発生した。</li> </ul>	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定とおりの工期で完了した、適正コストで収めたこと、見栄えよく完了させたなどを企業者に評価された。</li> <li>・現在、施設営業も予定どおり行われている。</li> </ul>	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の補修・補強であるので、施工条件に制約が多く、盛土では適用例が少ないロックボルトとした。</li> <li>・本事例の今後の経過を観察しながら、評価を定めたい。</li> </ul>	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も問題となっていることとして、宅地の地すべり、沢埋め盛土がある。復旧にも手間取っている状態である。そのような観点から、事前の調査などで対策ができるところは、自然災害のある前に補強すべきと思われる。宅造などは、民間での開発が多いため、事前対策は難しいところであるが。</li> </ul>	
NETIS登録	